平成２８年省エネルギー基準対応

自己適合宣言書文書番号:LXEC-1601

JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書(附属書)

開口部の熱貫流率・日射熱取得率 性能一覧 (RWG201)

本附属書は、自己適合宣言書と合わせてお使いください。

作成:2021年04月16日
改訂:2021年12年01日

株式会社LIXIL

商品: EW(複層ガラス仕様)
仕様: アングル付き・アングルなし(アングル付き同等納まり)
品種: 勝手口ドア(中桟パネル付タイプ)KD

ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率・日射熱取得率

熱貫流率(A、B)は、表1を参照ください。
表中の記号及び数値については、当社製ガラスでの評価となります。　　☆:室内外ガラス構成は、反転します。

		中空層:アルゴンガス入り												中空層:乾燥空気											
		一般						防犯						一般						防犯					
		透明			型			透明 (中間膜30mil)			型 (中間膜45mil)			透明			型			透明 (中間膜30mil)			型 (中間膜45mil)		
ガラス構成	室外ガラス厚	3	4	5	型4	型4	型4	3+3	3+3	3+3	3+型3	3+型3	3+型3	3	4	5	型4	型4	型4	3+3	3+3	3+3	3+型3	3+型3	3+型3
	中空層厚	16	14	12	15	14	13	12	11	10	12	11	10	16	14	12	15	14	13	12	11	10	12	11	10
	室内ガラス厚	3	4	5	3	4	5	3	4	5	3	4	5	3	4	5	3	4	5	3	4	5	3	4	5
熱貫流率 Low-E色	グリーン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-	-	-	-
	グリーン(高遮熱型)(☆)	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-	-	-	-
	クリア	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-	-	-	-
	ブロンズ	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-	-	-	-
熱貫流率	一般複層ガラス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	A	B	A	A	A	A	B	B	A	B	B
熱貫流率	一般複層ガラス(内外反転) (☆)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	A	B	A	A	A	A	B	B	A	B	B
日射熱取得率 Low-E色	グリーン	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	-	-	-	-	-	-
	グリーン(高遮熱型)(☆)	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	-	-	-	-	-	-
	クリア	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	-	-	-	-	-	-
	ブロンズ	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	-	-	-	-	-	-
日射熱取得率	一般複層ガラス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.06	0.06	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06	0.07	0.07	0.06	0.07	0.07
日射熱取得率	一般複層ガラス(内外反転) (☆)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.06	0.06	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06	0.07	0.07	0.06	0.07	0.07

＜表1＞熱貫流率の値
・アルミスペーサー仕様

記号	試験値	計算値	開口部の熱貫流率[W/(㎡K)] 遮蔽物無し	シャッター・雨戸付	風除室あり	ガラス中央部の熱貫流率[W/(㎡K)]
A	○		**1.80**	**1.67**	**1.53**	2.8　以下
B	○		**1.94**	**1.79**	**1.63**	2.9　以下

当社製以外のガラスの場合は、「＜表1＞熱貫流率の値」のガラス中央部の熱貫流率にて判断してください。

＜開口部の熱貫流率 ＞
・試験値はJIS A 4710に基づく代表試験体の熱貫流率です。
・計算値はJIS A 2102の熱貫流率の計算に基づき計算した代表試験体の熱貫流率です。
・代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の「 窓・ドアの熱貫流率に関し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲を定める基準」に基づきます。

＜日射熱取得率＞
・国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の「 開口部の垂直面日射取得率」に基づく値です。
(本表ご使用の場合は、和障子及び外付けブラインド取付け時も同じ値となります。)
・開口部の日射熱取得率は、開口部の熱貫流率に0.034の係数を掛けた値です。(小数第三位以下四捨五入)
・格子入り複層ガラスの日射熱取得率は、開口部の日射熱取得率に0.9の係数を掛けた値になります。(小数点第三位以下四捨五入)
・当社ホームページ内「①建具とガラスの組み合わせ」の「ガラス・建具毎の日射熱取得率」の値もご使用可能です。